

機密情報保護ソフトウェア

InfoCage FileShell

インフォケージ ファイルシェル

最新バージョンV6.2リリース



最新バージョン V6.2 機能アップ内容

- Microsoft 365 (Word、EXCEL、PowerPoint) にフル対応
- Windows Server 2022 対応 ●Windows 11 Enterprise / Professional対応
- Microsoft Purview Information Protection (MIP) への機能強化
(Azure ADでの配布先管理 / 秘密度レベルの分類管理 (Microsoft 365連携可能))
- ラベル保護PDF対応 ●InfoCage FileShellポリシーのフルエクスポート/インポート
- ファイルサーバ統合管理「NIAS」連携強化で機密データのピンポイント保護を実現

2023.06

Microsoft社のIRM*1を用い さまざまな場所およびファイルを自動保護（認証+暗号化） ファイルが流出しても読まれない安心な経営基盤を実現

機密情報保護における問題と対策事例

経営リスクにつながる機密情報の漏洩を防止！

問題

- 標的型攻撃の高度化、改正個人情報保護法により、機密情報（技術情報、個人情報）の漏洩リスクはますます高まり、経営リスクに
- 機密情報を利用者に区別させるような利用者のモラルに依存した対策の限界
- セキュリティ強化による、業務効率低下の懸念

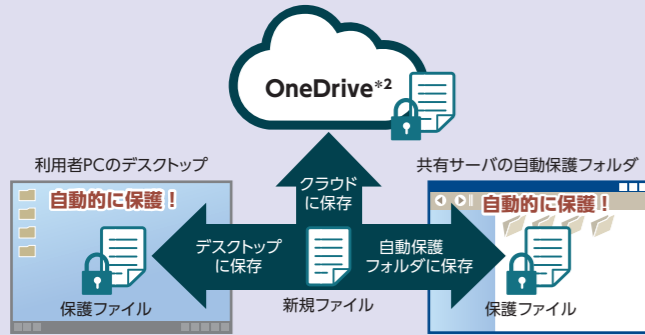
対策

- 『ファイルが流出しても読まれない安心感』で『安全・安心な経営基盤』を確立する
- 機密情報の判断を利用者任せにしない『自動的なファイル保護』
- 『利用者の操作性は変わらず』セキュリティと利便性を両立

InfoCage FileShellの特長

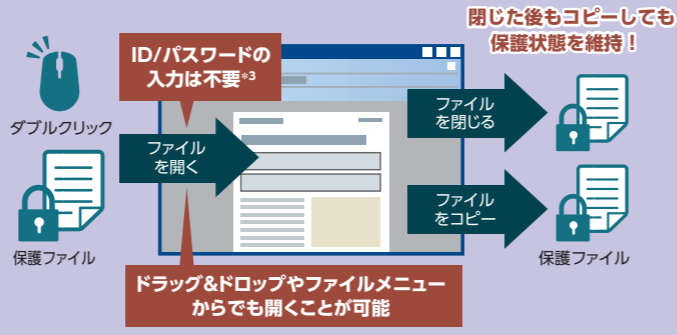
1 自動でモレなくファイルを保護

手作業で保護する必要はありません



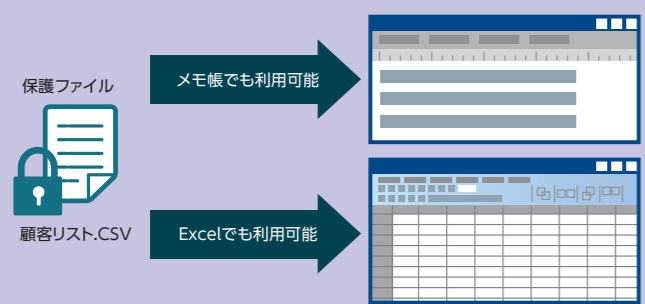
2 導入後も利用者の操作は従来通り

保護されたまま編集・閲覧可能



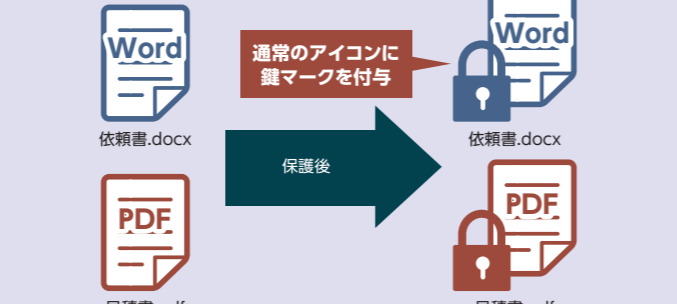
3 多種多様なファイルを保護

利用するアプリケーションも自由



4 保護済みファイルも簡単に視認

拡張子も変わらないため見失いません

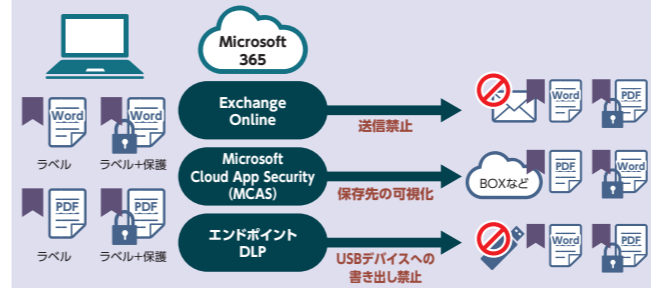


*1: Information Rights Management *2: Microsoft OneDrive または Microsoft OneDrive for Business *3: 本システムが参加しているActive Directoryにログイン時。もしくは簡易認証連携オプション利用時。

機密情報保護ソフトウェア

クラウドサービスとの連携を強化

- Azure Information Protectionのラベル機能に準拠してOfficeファイル、PDFファイルを分類可能で、Microsoft365の各種サービスとも連携可能。Officeファイル、PDFファイル以外のファイルも拡張子を変えずに保護可能



豊富な標準対応アプリケーション、対応ファイル

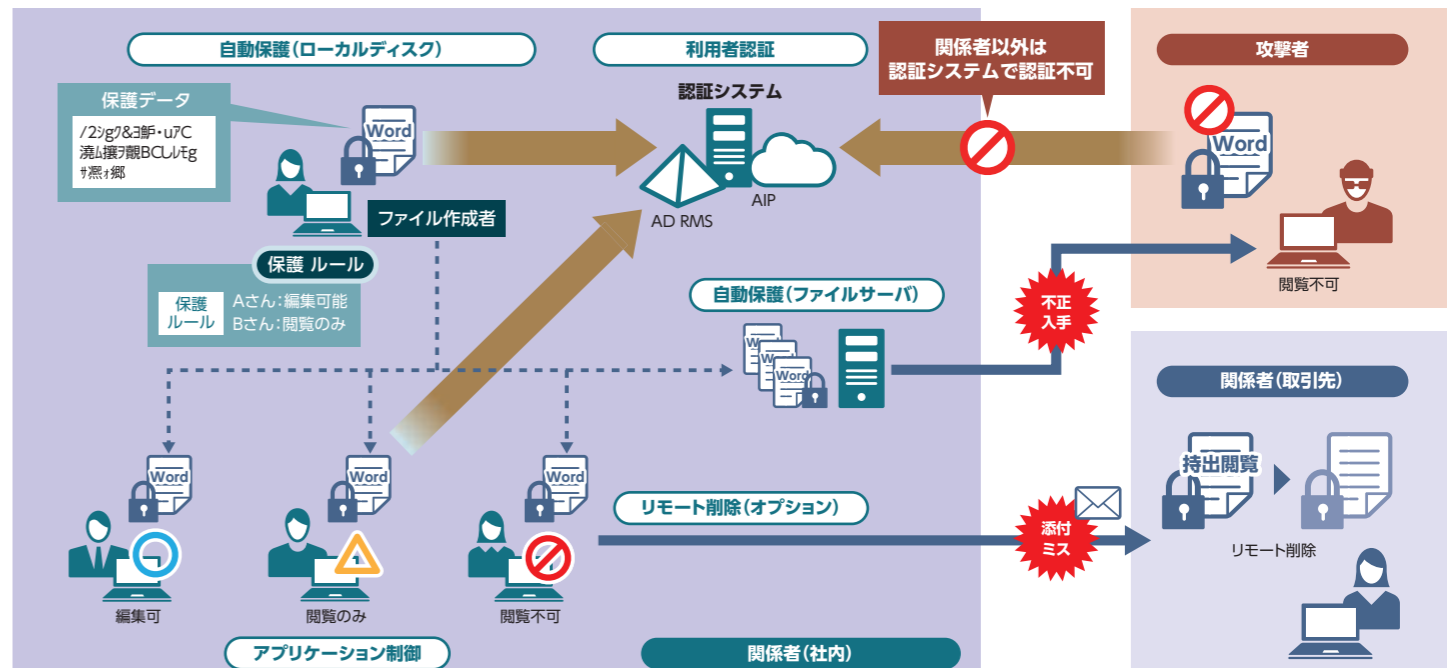
- InfoCage FileShellは、標準で豊富なアプリケーション、ファイルに対応。さらに標準以外でもユーザ定義で対応アプリケーション、対応ファイル追加も可能

アプリケーション名	文書形式
Microsoft 365 (Word, Excel, PowerPoint)	docx / docm / doc / xlsx / xlsm / xls / pptx / pptm / ppt
Microsoft Office Professional Plus (Word, Excel, PowerPoint)	docx / docm / doc / xlsx / xlsm / xls / pptx / pptm / ppt
Microsoft Visio Professional	vsdw / vsdx / vstx / vstx / vstx
Windows 標準メモ帳	txt / csv / htm / html
Windows 標準ペイント	jpg / jpeg / jpe / jif / tif / tiff / png / bmp / dib / gif
Adobe Reader	pdf / fdf / xfdf
AutoCAD	dwg / dws / dwt / dxf
SolidWorks Premium	SLDASM / SLDPR / SLDRAW
Pro/ENGINEER WILDFIRE	prt / asm / drw / frm / sec / rep / mrk (prt.*asm.*drw.*frm.*sec.*rep.*mrk.*)
Creo Parametric	prt / asm / drw / frm / sec / rep / mrk (prt.*asm.*drw.*frm.*sec.*rep.*mrk.*)
DocuWorks Viewer Light	xdw / xbd / xct
InfoCage FileShell 画像ビューアー	jpg / jpeg / jpe / jif / tif / tiff / png / bmp / dib / gif

- InfoCage FileShell V6.2より、ラベル保護されたPDFファイルをAcrobat Readerのプラグインなしで解除/閲覧可能

導入イメージ、活用イメージ

- ファイル自身にセキュリティ情報を持たせ、ファイルがどこに存在しても、常にアクセスとアプリケーションの操作を制限。万が一、ファイルが漏洩しても、中身は漏洩しない安心できる環境を実現
- 大切な情報を安心して任せられる基盤として、AD*1と連動して保護できるAD RMS*2およびAIP*3を採用。利用者の管理も変更不要。また、ADが無い場合もFileShell認証専用ADを構築することにより導入可能

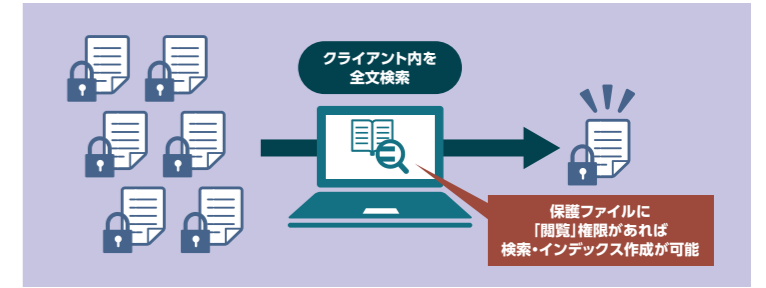


*1: Active Directory *2: Active Directory Rights Management Services *3: Azure Information Protection

InfoCage FileShell

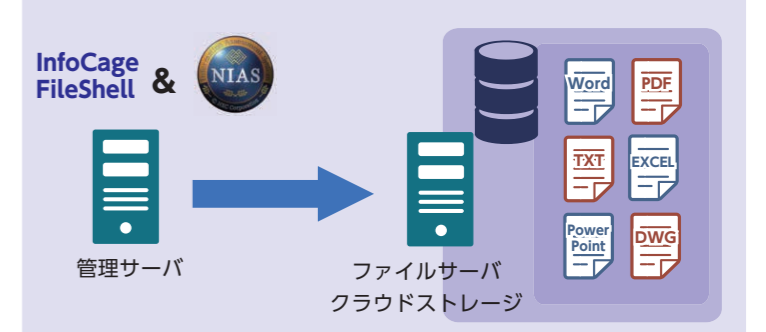
セキュリティと利便性の両立

- 保護したファイルの全文検索を実現（保護していないファイルも含む）
- 検索対象は、Windows Searchと同じ拡張子が設定可能



ファイルサーバ統合管理「NIAS」連携

- ファイルサーバ統合管理「NIAS（ニアス）」と連携し、情報漏えい対策したいファイルをユーザの利便性を下げることなく、NIASの管理画面から条件にマッチするファイルをピンポイントに保護可能

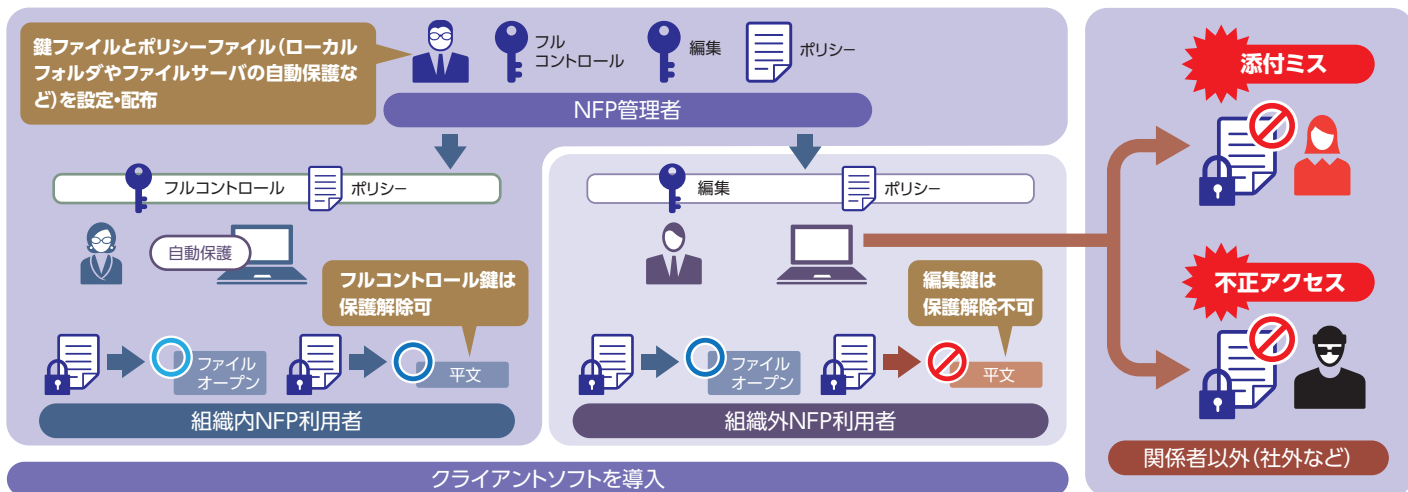


- NIASとの連携には、NIASサーバに InfoCage FileShell プロテクタ for NIAS のインストールが必要
- InfoCage FileShell プロテクタ for NIASは InfoCage FileShell と NIASの両方を導入済の正規ユーザー様へ無償提供

鍵ファイルを用いた InfoCage FileShell NEC File Protection Edition (NFP)

●AD RMSやAIPを使わずに導入できるエディションもご用意

サーバレス構成が可能	サーバの代わりに管理者が鍵とポリシーを作成しファイルで利用者に展開	変わらない操作性	配られた鍵で自動的に保護 利用者は保護を意識せず利用可能
-------------------	-----------------------------------	-----------------	---------------------------------



InfoCage FileShell 動作環境

AD RMS利用時	AIP利用時	NFP利用時	InfoCage FileShellサーバ 対応プラットフォーム
			Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016
			InfoCage FileShell クライアント 対応プラットフォーム
			Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows 11* Windows 10*

InfoCage FileShell サーバを用いたポリシー配信①も可能 (SCSK推奨構成) なほか、InfoCage FileShell サーバを構築しない構成②も可能です。

*Windows デスクトップアプリケーションのみ対応

●本例はおくまで参考情報であり、冗長化等の構成は導入の際、実環境に合わせて構成を考慮する必要があります。●InfoCage FileShell サーバおよびAD RMSサーバの動作要件として、ADおよびSQL Serverが必要になります。

InfoCage FileShell 製品構成

製品名	概要
InfoCage FileShell メディアキット	InfoCage FileShellサーバおよびInfoCage FileShellクライアントのソフトウェア
InfoCage FileShell ベースライセンス	設定されたポリシーに従い、ファイルの保護やアプリケーションの制御を行うためのユーザライセンス
InfoCage FileShell NEC FileProtection Edition ライセンス	NFPを利用するためのユーザライセンス (ベースライセンスも必要)
InfoCage FileShell プロテクタ for SharePoint Server	SharePoint ServerのIRM機能を拡張し、さまざまな形式のファイルを保護するためのソフトウェアとライセンス
InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバ	InfoCage FileShellクライアントが導入されていないPCや業務システムからファイルサーバにファイルが格納された時に自動で保護するためのライセンス
InfoCage FileShell 持出閲覧オプションユーザライセンス	InfoCage FileShellクライアントの機能を拡張し、持出閲覧形式で保護するためのユーザライセンス
InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションユーザライセンス	FileShellシステムを導入したADとは別ドメインにログオンしている場合に表示される、ファイル利用時の認証画面へID/パスワードの入力を自動化するためのユーザライセンス

●別途、OS、SQL Server、AD RMS、Azure Information Protection等のMicrosoft社のライセンスが必要です。●InfoCage FileShell プロテクタ for SharePoint Serverを利用する場合は、別途、SharePoint Serverが必要です。●InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバを利用する場合は、別途、InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバのメディアキットが必要です。●InfoCage FileShell プロテクタ for ファイルサーバは保護専用です。ファイルを開覧・保護解除するにはInfoCage FileShellクライアントが必要です。●InfoCage FileShell 持出閲覧オプションを利用する場合は、別途、InfoCage FileShell 持出閲覧オプションのメディアキットが必要です。●InfoCage FileShell 持出閲覧オプションのみでのご利用はできません。InfoCage FileShellクライアントが必要です。●InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションを利用する場合は、別途、InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションのメディアキットが必要です。●InfoCage FileShell 簡易認証連携オプションのみでのご利用はできません。InfoCage FileShellクライアントが必要です。●構成などご不明な点は、なんでもお気軽に後述のお問合せ先までご連絡ください。

InfoCage FileShell の導入、構築、教育、サポートまで、ワンストップでSCSKへお任せください。

これまで数多くのお客様にさまざまな情報セキュリティを強化するITシステムの導入構築を担ってきたSCSKでは、豊富な知識と経験があります。技術支援として国家資格「情報処理安全確保支援士」を筆頭に高度情報処理資格を持った技術者による総合的なアドバイスや「InfoCage FileShell」を熟知したエンジニアによるきめ細かなサポートを提供しています。DX（デジタルトランスフォーメーション）推進においても機密情報保護ソフトウェア「InfoCage FileShell」の導入は大きくお役に立ち、あらゆる面でお客様の課題解決を実現します。安心してSCSKへご相談ください。



製品開発元 日本電気株式会社 〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1 (NEC本社ビル)

製品およびご購入に関するお問い合わせ

SCSK SCSK株式会社
<https://www.scsk.jp/>

ITインフラ・ソフトウェア事業本部 サーバ・ストレージ部
 〒135-8110 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント
 E-mail: nec-sales@scsk.jp
 製品情報 <https://www.scsk.jp/sp/infocage/>



Infocage FileShell
 製品サイトはこちら

●本カタログ中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。●本製品の輸出(非居住者への役員提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きに当たり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にてご相談ください。●本カタログに掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。●記載内容は2023年6月1日現在のものです。